

第150回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

仕入	前受金	負のれん発生益	資本金
未収入金	貯蔵品	備品	別途積立金
未払法人税等	当座預金	売上	ソフトウェア
のれん	支払手数料	支払利息	機械装置
営業外支払手形	構築物	租税公課	現金
未払金	普通預金	建物	役員収益
仕掛品	クレジット売掛金	売掛金	利益準備金
繰越利益剰余金	役員原価	買掛金	仮払法人税等
仮払消費税	固定資産除却損	その他資本剰余金	給料
仮受消費税	資本準備金	受取手形	長期前払費用

- 顧客に対するサービス提供が完了したため、契約額 ¥ 500,000 を収益に計上した。この収益のうち、¥ 300,000 は以前に受け取っており、前受金で処理している。残額の ¥ 200,000 は当月末に受け取る予定である。また、この収益計上にともない、それまでに仕掛品に計上されていた諸費用 ¥ 250,000 と追加で発生した外注費 ¥ 100,000 (支払日は翌月末) との合計額を原価に計上した。
- 工事が完成し、建物に ¥ 32,000,000、構築物に ¥ 4,000,000 を計上した。この工事については、毎月末に支払期日が到来する額面 ¥ 1,100,000 の約束手形 36 枚を振り出して相手先に交付した。なお、約束手形に含まれる利息相当額については費用勘定で処理することとした。
- 同業他社の事業を ¥ 3,000,000 で譲り受けることになり、譲渡代金は小切手を振り出して支払った。この取引により譲り受けた資産・負債は、商品 ¥ 2,500,000、備品 ¥ 2,000,000、買掛金 ¥ 1,000,000 である。
- 商品を ¥ 648,000 (消費税込み) で販売し、このうち ¥ 216,000 (消費税込み) を現金で受け取り、残額をクレジット払いの条件とした。信販会社へのクレジット手数料(クレジット販売代金の4%)も販売時に計上した。なお、消費税の税率は8%とし、税抜方式で処理するが、クレジット手数料には消費税は課税されない。
- 繰越利益剰余金が ¥ 3,000,000 の借方残高となっているため、株主総会の決議によって、資本金 ¥ 2,000,000、資本準備金 ¥ 2,000,000、利益準備金 ¥ 3,500,000 を取り崩すこととした。なお、利益準備金の取崩額は、繰越利益剰余金とした。